

児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

#### 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	4月当初、放課後遊びの中で友だちに怪我をさせる事案があり、当該児童、保護者間で十分話し合った結果、解決を図ることができた。現在、どの学級も落ち着いた学校生活を送っており、暴力行為は見られない。今後も人権教育を基盤として学級経営を進めていく。
② いじめの状況等	学校全体で組織的にいじめの未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいる。認知したいじめについては、しっかり話を聞き取り解決に向けて話し合った結果、解消している。また、困った時は、すぐに相談できるようになってきているので、今後も話しやすい学級の雰囲気を大切にして指導を継続していく。
③小・中学校における不登校の状況等	本人や保護者への働きかけや区役所・関係諸機関と連携して登校支援を進めてきた結果、再登校に向けて進みつつある。